



男体

第48号
平成19年1月1日発行

明けまして おめでとう ございます

輝かしい新春を皆さんと迎えることができました。そして今年
は、216の国と地域、2,900万人以上のスカウト仲間とともに
創立100周年という記念すべき年を祝うことになりました。

1世紀という1つの区切りを契機として、新たな出発点になる
ことを望んでいます。しかし、スカウト数は年々減少しており、
新世紀に向けてこれを少しでも回復させることが、今、私たちが
求められている最大の課題と考えています。

具体的には、団内各隊が常に2個班（組）以上を維持し、スカ
ウトたちに本来の活動ができるよう、県連盟として最善の取り組
みをして参りたいと考えています。

ベーデン・パウエルは、100年前に「班制度」と「進歩制
度」をスカウト活動の柱として位置づけ、少年たちの自発活動に
託してきました。しかし、スカウト数の減少によって、多くの団で「班」を維持することが
困難な状況にあります。言うことは簡単ですが、スカウト数を増やすことには幾多の困難が
伴うかもしれません。しかし、一度（ひとたび）スカウトとなった少年にスカウト活動の真
の楽しさを体験させるには、スカウト隊に2個班以上が確保され、班長を中心に、パトロー
ルシステムが機能できるように努めることが、私たち成人指導者に課せられた努めであると
考えています。

このことから、平成19年を新世紀元年と位置付け、この運動に一人でも多くの青少年
を迎え入れることができるようプロジェクトを立ち上げるとともに、各団・各隊と協働して
取り組みたいと考えています。

また、本運動創立100周年を世界の仲間とともに祝い、スカ
ウトたちに世界観を实践させる機会になればと望んでいます。県
連盟としても創立100周年を記念する何らかの事業に取り組む
必要があると考えています。

このほかに、平成19年度は、関東ブロックの幹事県連盟とし
ての取り組み、第15回日本ジャンボリーの第2サブキャンプの
担当県連盟としての準備などがあり、万全の体
制を構築する必要があります。新世紀元年は、
人的にも財的にも厳しい局面を迎えることにな
りますが、これらを乗り越え、今後の県連盟運
営の糧となるよう、前向きに取り組んで参る所
存でございます。



平成19年元旦
日本ボーイスカウト栃木県連盟
理事長職務代理者 押田 好雄



目次	
団運営研修所	2
技能章考査員養成講習会	2
西部地区カブ・ビーバーデイ	3
信仰のたしなみ	4
冒険手帳をやってみよう	4
私のおきて指導	5
事務局のうごき	6

団運営研修所 関東第10期

平成18年11月23日(木)～25日(土)に日本連盟那須野営場に於いて、団運営研修所関東第10期が開設されました。

今回は4年ぶりに当番県連である栃木県の開催であり、星野典雄所長(栃木県連盟LT)他、栃木・埼玉・茨城・群馬県連合同のスタッフのもと、18名(内栃木県8名)の参加がありました。



《参加者の感想》

「団委員は運営部門を担当し、指導者は教育部門を担当する」これは基本であり、実際に行われていなくてはならない事です。しかし、団によりそれぞれ事情があり、基本どおりに運営がなされていない団もあります。

私が所属する団は、指導者でありながら団の運営も行っています。団委員がどのように団の運営に携わっていかなくてはならないのか。団の運営方法を明確にするために、隊指導者という立場ですが研修に参加しました。

そこで私が一番強く感じた事は、団の運営の総責任者である団委員長は、スカウト

活動についてすべてを知り尽くしていなくてはならないのだ、と言う事です。団委員長の役務の重要性を再認識させられました。

団会議に於いてプログラムの一貫性を保ち、成人の確保や調整を行い、各隊から提出されたプログラムを側面から支援し、隊指導者が十分に力を発揮出来るよう努めなくてはならないのです。

実際に基本通りにいかないかもしれませんが、少しでも良い方向にもっていけるように研修で学んだ事を今後の団運営に生かしていきたいと思えます。



宇都宮第13団 杉本 万里子

技能章(炊事章) 考查員養成講習会

12月9日(土)～10日(日)那須野営場に、県内の指導者5名が参加し、炊事章の技能章考查員養成講習会(前期)が開かれました。

(後期)の講習会が1月20日～21日に行われます。



《参加者の感想》

まずもって、講師の諸先輩の皆様には、ご多忙な中をありがとうございます。心から深く感謝申し上げます。

さて、今回の研修において自隊の普段の活動では、なかなか気付かない

点など、改めて振り返らせていただくこともでき、また、他の団の皆様との情報交換もできまして、有意義な研修でした。

スナックパンでは、胡桃をまぜるといったちょっとした工夫で美味しくなるなど、おおざっぱな男仕事をしている私には大きなお土産になりました。食事が美味しくいただけないキャンプはつまらないもの、育ち盛りのスカウトにとりましては、なおさらだと思います。

このような研修参加は久々でしたが、お蔭様でよいリフレッシュができました。自隊に戻り、微力ながらスカウトの技能向上の一助になればと、決意新たにいたしました。

栃木第1団ボーイ隊 糸井和正



西部地区カブ・ビーバーデイ

11月19日(日)に日光市「だいやがわ公園」に於いて、カブ・ビーバーデイが開催され、今市2団・今市5団・鹿沼1団・鹿沼4団のスカウト84名と、各団のリーダーと保護者、総勢120名が参加し行われました。

6種目のゲームで食材をゲットして、ゲーム終了後に全員で「なが〜い海苔巻き」を作成し、なんと！27m80cmつながりました。ギネスには程遠い長さでしたが、みんなで大歓声でした。

その後、各々に海苔巻きをいただき、秋の一日を楽しみました。味の方は写真をご覧になり想像してください。

宇賀神地区委員長を囲み、西部地区リーダーががっちりスクラムを組んで各事業に取り組んでいます。今後、益々の活動に期待致します。

西部地区コミッショナー 疋田 利秀



製作中



完成



「参加保護者の一言」

寒かったが、子ども達の歓声に押されて一日が終わりました。日ごろの活動に際し、リーダーのご苦勞に感謝します。これからも宜しく願いいたします。

「参加リーダーの一言」

長い海苔巻きに一同大歓声を挙げ、ゲームに関しても怪我人も無く終了したことは大変喜ばしいことです。「スカウトの笑顔に乾杯！！」

《広告》

有限会社 酔心
 酔心 suisin in ぱるてい
 宇都宮市野沢町4番地1 〒320-0071
 パルティとちぎ男女共同参画センター1F
 TEL(028)666-1331・FAX(028)666-1332
 各種弁当承ります。
 酔心は、ボーイスカウト栃木県連盟の事業に協賛しています。



∞∞∞∞∞∞∞∞ シリーズ 「信仰のたしなみ」 No.1 ∞∞∞∞∞∞∞∞

「おい！見てみる、綺麗だぞ」夜明け前、うっすらと明るくなりかけた空と雨上がりの雲がオレンジ、紫、淡い水色、灰色の美しいしま模様を描いている。これは12月のキャンプの朝の風景、空の変化に気付いた副長の言葉に空を見上げるスカウトたち。

「ああ、綺麗だなあ」と思う。「一分間、目を閉じて静かに音を聞いてみましょう」それまで気付かなかった音が耳に飛び込んで来る。鳥のさえずり、虫の声、風に揺れる枝葉の音。「自然ってけっこう騒がしいんだね」とカブスカウト。これは春のキャンプのスカウトオウンのひとこま。「うん、そうだね、賑やかだね」と素直に思う。

自分の力が及ばない何かに対して、恐れと尊敬の念を持って接すること、それを通じて素直な心を持ち、自分の行動を律すること、あらゆるものを慈しみ、愛情を持つこと・・・これが私の信仰の解釈。

「そんなことをするとバチが当たるよ」・「いい子にしてないとサンタさんが来ないよ」と素直に信じる心。

考えてみれば、素直な心、かなわぬ何かを信じる気持ちは、むしろ子供たちの方が優れていると思う。

スカウティングを通じて、感動や驚き、発見をスカウト共に楽しみ、素直な心を持ち続けていたいと思う。

宇都宮第15団
ボーイ隊長 和良品文之丞



冒険手帳をやってみよう！

冒険手帳とは、災害時にも役に立つ「生きていくための技術」がだれにでも身に付けられるという内容の本です。(日本連盟需品) (県連事務局にて取り扱っています)

今回は、アルミ缶と新聞紙でご飯を炊くということに挑戦しました。

- 用意するもの
 - ・米 (1合弱)・アルミ缶2つ (一つは温めてもOKな缶：お茶)・新聞紙1日分・アルミホイル15cm
 - ・石・割り箸×2・はさみ・千枚通し・軍手
- 前準備
 - ・缶1の蓋の部分を缶きりで開ける
 - ・缶2の蓋の部分を缶きりで開ける
 - ・缶2に新聞紙の炊き口を開ける (はさみで簡単に切れます)
 - ・缶2の上の方に千枚通しで3箇所穴を開ける
 - ・缶1に米を入れ、割り箸で砥ぐ
 - ・缶1に入れて水を入れる。(水量：人差し指第二関節)
 - ・新聞紙の薪を作る (片面を1/8くらいで切り棒状にねじる)
- あとは、写真のとおり新聞紙を燃やす
- 炊けたあとは5分くらい蒸らす
- 結果
おいしいご飯が炊けました。



- ワンポイントアドバイス
 - ・新聞紙を入れる割り箸があると便利
 - ・炊きこぼれる水で判断よりアルミホイルの蓋を開いて見る
 - ・蓋のアルミホイルをしっかり巻かない。多少ゆるめでOK
- その他
 - ・火加減しだいでは新聞紙は1日分の半分でもOK
 - ・缶2の炊き口を大きくすると缶1の重さと火力で缶2が曲がる
 - ・火力調整は口からの風 (フーフー) でOK
- まとめ
薪を使えと言うリーダー・灯油を入れろと言うリーダー・・・と外野は言いたい放題でした。新聞紙を使うことにより、新聞紙をどう使うか (ねじり方や大きさとか) を考えることができました。着火から火加減の調整も非常に簡単で、だれでもできる方法だと思います。薪が簡単に手に入らないところでの使用もOK=都会？ という考えもあります。

栃木第1団 白澤 正年

私のおきて指導

現在は、昨年度より後進に隊長職をゆずり副長職に就いておりますので隊長時代のお話を披露したいと思います。

長年ベンチャー年代の子供たちを指導してきたので、話をすれば理解してくれる年齢なので、苦勞をした思い出はありません。というのもベンチャー章取得課題に「ちかい」と「おきて」に基づいた活動をすることを認める。という課題があるからです。

この時に私と個人面談をして一人ひとりの理解度に応じて、日連発行の「おきて指導の手引き」を参考に話をします。

これで大体のスカウトは理解してくれ、ベンチャー章取得課題はクリアになりますが、大切なのはこれから。

わたしはベンチャー年代においては言葉での「おきて」の指導は無用と考えています。ベンチャーは常に我々指導者の行動・言動を観ています。指導者の行動が「おきて」の日頃の指導と注意しています。

例えば指導者は時間には絶対に遅れない(スカウトは誠実である)

自分の食事は絶対にスカウトには作らせない(スカウトは礼儀正しい)

スカウトの前では飲酒をしない(スカウトは勇敢である)

スカウトの進歩の為なら。スカウトのスケジュールにこちらから合わせ個別指導をする(スカウトは親切である)

スカウトから貰った連絡メールにはたとえ承諾した・承知しただけの簡単なメールでも返事を出します(スカウトは感謝の心をもつ)。等

日頃の私自身の行動がベンチャーにおける「おきて」指導であると共に、私自身の勉強と思い、又スカウトと共に指導者自身も向上することが「おきて」指導と心得ております。

佐野第4団 ベンチャー隊副長
高尾 一



《広告》

Life Guard Management

■東京海上日動火災 ■東京海上日動あんしん生命 ■富士火災

私達は、栃木県のボーイスカウト
一人ひとりを見守っています。

有限会社 ライフガードマネージメント
代表取締役 上久保 隆一

〒320-0057 宇都宮市中戸祭1-5-25
TEL 028-650-4329 FAX 028-650-4328

丸いゲルで仲間と顔を見合わせながら語り合う。
絆を深め異文化体験もできる場所「テンゲル」
スキーや雪上活動にも！

1泊2食 ¥6,300~

【駅、活動場所への送迎有】
テンゲルはボーイスカウト栃木県連盟の事業に
協賛しています。

モンゴリアビレッジテンゲル
那須郡那須町大字高久丙1577-9
http://www.nasu-forum.co.jp
tel:0287-76-6114

事務局の動き

【平成18年】

11月 4日 (土)	理事会
11月 11日 (土)	とちぎ教育の日
11月 19日 (日)	開発委員会
11月 23日 (木祝) ~25日 (土)	団運営研修所関東10期 (那須野営場)
11月 25日 (土) ~26日 (日)	全国事務局長会議
11月 26日 (日)	プログラム委員会
12月 2日 (土)	グローバル委員会
12月 2日 (土)	各種運営委員長会議
12月 9日 (土) ~10日 (日)	技能章(炊事章) 考査員養成講習会 (那須野営場)
12月 10日 (日)	名誉会議
12月 10日 (日)	コミッショナー全体会議
12月 25日 (月)	組織委員会



今後の予定

【平成19年】

1月 6日 (土)	理事会 (大田原市)
1月 6日 (土) ~7日 (日)	団役員指導者研修会 (大田原市)
1月 7日 (日)	団委員長・事務担当者会議 (大田原市)
1月 14日 (日)	スカウトソング研修会 (真岡市)
1月 20日 (土) ~21日 (日)	技能章(炊事章) 考査員養成講習会 (那須野営場)
1月 21日 (日)	女性リーダーの集い (小山市)
2月 3日 (土)	各種運営委員長会議
2月 17日 (土)	名誉会議
2月 25日 (日)	救急法講習会 (小山市)
3月 3日 (土)	理事会
3月 4日 (日)	リーダーセミナー/地図とコンパス (那須烏山市)
3月 10日 (土) ~11日 (日)	トレーニングチーム研究集会 (栃木市)
3月 18日 (日)	リーダーセミナー/環境教育 (日光市)
3月 18日 (日)	県連登録審査会
3月 24日 (土)	名誉会議
3月 31日 (土) ~4月2日 (月)	県VS大会 (真岡市)



作：をかもと

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長理事 黒崎博孝 発行部数 2500部

日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043
栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号

電話 028(621)9800
Fax 028(621)9800
Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp
info@scout-tochigi.jp

ホームページもぜひ見てください。
<http://www.scout-tochigi.jp>



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク(SOY INK)を使用しています。